

キャラクター名  
"マリア"

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス ブラム=ストーカー		ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	研究者
	オプション		年齢	???	性別	女
覚醒	探求	衝動	恐怖	初期侵食率	36	%
出自	転生体	経験	親友	邂逅	貸し	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	0	0			2	行動値	11
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	11
精神	1	1	1			3	戦闘移動	16
社会	1	0	0			1	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	8		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
転生者	P	N		
錬金術	P 執着	N 隔意		
霧谷 雄吾	P 感服	N 劣等感		
アヴィケンナ	P 慈愛	N 憐憫		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1		常時					
効果:	衝動判定D+Lv							
オリジン:レジェンド	5	2	マイナー					
効果:	【精神】達成値+[Lv*2]							
C:モルフェウス	2	2	メジャー					
効果:	C-Lv							
サンドシャード	2	4	メジャー		範囲(選択)	<RC>	S-Lv回	
効果:	攻撃+[白兵武器攻撃力]武器破壊							
赫き剣	5	2	マイナー					
効果:	武器 攻撃力+[(消費HP)*2+8]							
破壊の血	4	2	マイナー					
効果:	赫き剣攻撃力+[Lv*3]							
砂の加護	4	3	オート					
効果:	他人の判定D+[Lv+1]							
ストライクモード	3	6	メジャー				80%	
効果:	ダメージD+Lv 武器破壊							
R:オウガバトル	7	2+4					100%	
効果:	メインプロセス中の攻撃+[Lv+2]							
成分分析	★							
効果:	どれどれ……おお、やはり良く見える物よな							
日常の代行者	★							
効果:	長く緻密な研究は任せる、適材適所だな。							
効果:								
効果:								

女性型のレネゲイドビーイング。尊大かつ老成した口調で話をする。年齢を聞くと怒られる。常に何らかの研究をしており、各地で似たような女性研究者の報告が上がっている。記録に残っているだけで100年以上前か。ただ、いつの時代も研究内容はレネゲイドに関連するものばかりであり、内容に多少のブレはあれど行動指針は一貫している。自称「研究所妖精」何言ってんだ年齢考えるババゴメササケデメサス。

泰然とした態度を崩さず、いつも落ち着いてい、よとするタイプ。おせっかい婆ともいう。そのくせ人をからかうことは好きなので、大体誰かをおちょくって遊び、途中で非悪感に耐えきれなくなって甘やかす。人たらしってヤツ。このやり方は誰かをマネしているんだとかなんとか。

攻撃方法は、自らの血を材料に剣を作り上げ乱暴に敵に放り投げる、なんとも知性のケケラも無いやりかた。曰く「本来は私は戦闘向きでは無いのでな、多少乱雑なもの仕方なからう」とのこと。ただ、時折戦闘中の行動がやたら場慣れしているようになるので誰にも信じてもらえていない。

彼女のポリシーとして、『想いは言葉にして告げる』というものがある。発言には言葉が宿る、との言葉も古臭いが彼女は信じて疑っていない様子。だからなのか、彼女は謝罪と感謝、そして自身の決意を必ず口に出す。誰に伝わる訳でもないのに、誰かに向かって言い続けるのだ。

————— どうでもいい話 —————  
彼女の主とする研究テーマは『錬金術』。と言っても、元来の意味での錬金については詳細な理論こそ追いついていないものの、実際に物質の変換が実行されている。それでもなお主要なレネゲイド研究テーマに錬金術のワードが残っているなど、レネゲイド研究と錬金術自体は密接に結びついているのだ。